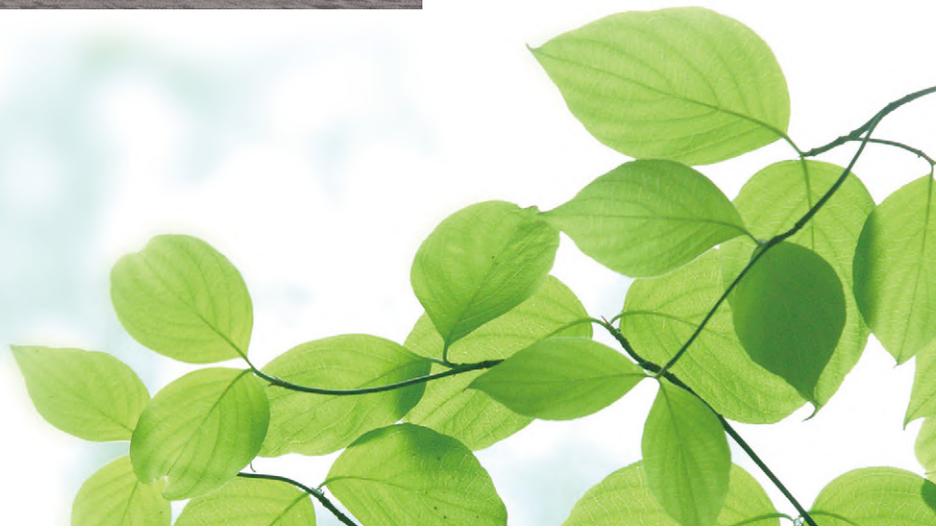
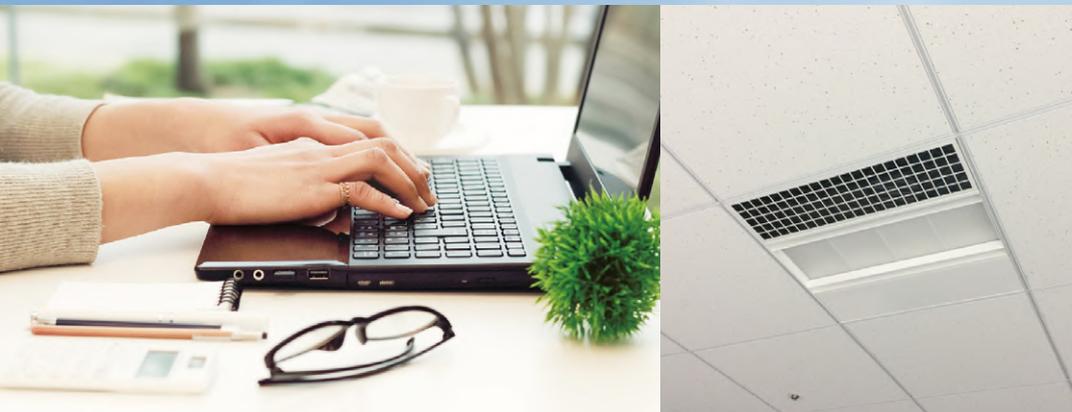




グリッド天井用高拡散吹出口
フレアフロー

— グリッド天井用高拡散吹出口 —

フレアフロー[®] GTF型





空間をもっと快適に。

そしてシンプルに。

Contents

室内 インテリア用 3~5

左吹出	GTF-L
右吹出	GTF-R
1800モジュール縦用	GTF-L-H
1800モジュール横用	GTF-L-V
低温・小風量対応左吹出	GTF-L-LA
低温・小風量対応右吹出	GTF-R-LA

SA・OAセパレート型 6

左吹出	GTF-L-SP-60
右吹出	GTF-R-SP-60
左吹出	GTF-L-SP-90
右吹出	GTF-R-SP-90
左吹出	GTF-L-SP-120
右吹出	GTF-R-SP-120

窓 ペリメータ用 7~8

ペリ短辺左吹出	GTF-PS-L
ペリ短辺右吹出	GTF-PS-R
ペリ長辺吹出	GTF-PL-N
ペリ長辺拡散型左吹出	GTF-PL-DL
ペリ長辺拡散型右吹出	GTF-PL-DR

図面 9~10

ご注意 ⚠

- ※カタログ掲載の商品は、一般空調用としての使用を前提としたものです。
- ※永く安全にご使用いただくために、必ず定期的な点検・清掃を行ってください。
- ※事故・破損防止のため、性能表に示す範囲の風速を守ってご使用ください。一般空調用以外での使用や性能表の範囲を超えた状態での使用は異音や破損などの原因となります。
- ※異音など異常がある場合には、使用を停止してお近くの窓口までお問い合わせください。
- ※表面はメラミン樹脂焼付塗装または粉体塗装仕上げです。仕上色は日本吹出口工業会規定の色見本の中からお選びいただけます。また、オプションとして特別色のご指定も可能です。

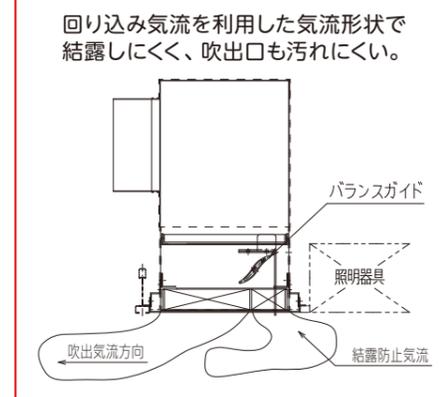
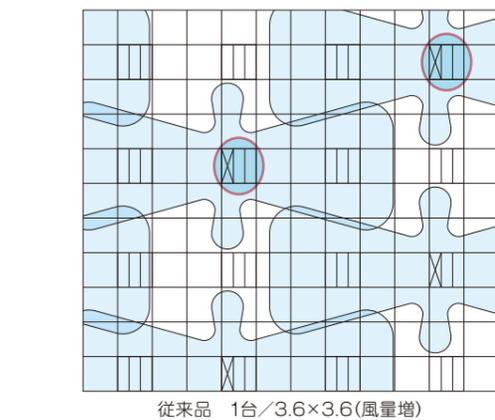
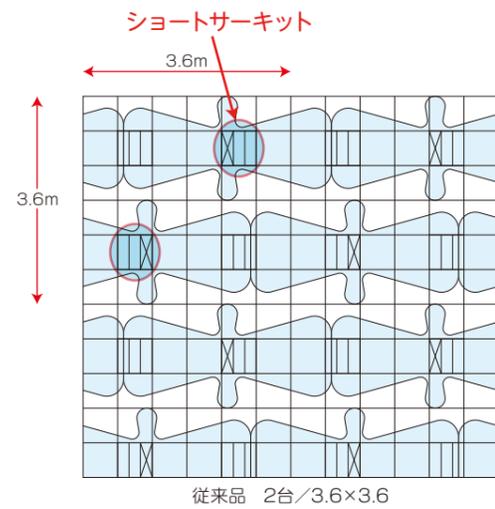
高拡散吹出口

フレアフロー[®] 工業所有権
取得済

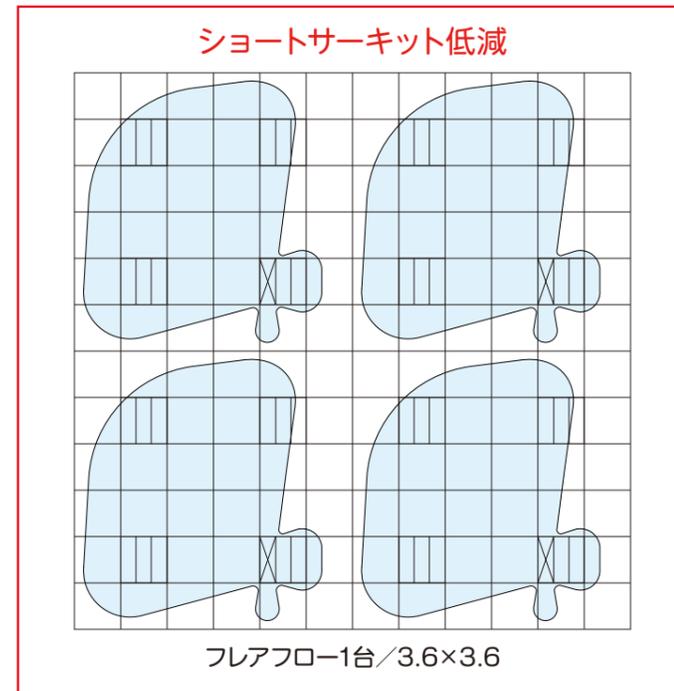
室内 インテリア用

3.6×3.6モジュール (最小間仕切り対応) の吹出口を従来の2台から、1台でオフィス空調を可能にしました!

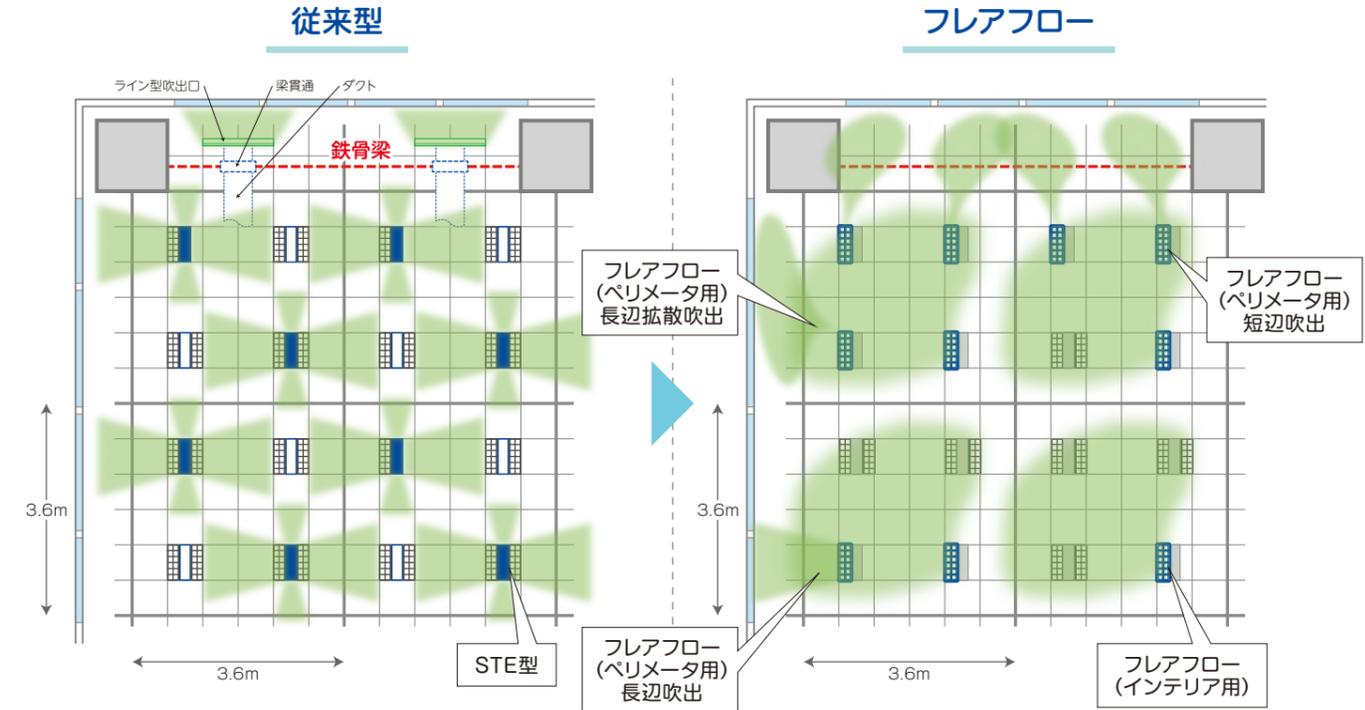
良好な気流分布と、
ショートサーキットの低減



- 3.6モジュール1カ所の吹出口の気流が広範囲に攪伴
- 吹出口横の照明器具吸込口へのショートサーキットの低減



フレアフローなら梁貫通工事が不要!



従来型

インテリア用吹出口(STE型)とペリメータ用(ライン型)にて吹き出す

- 3.6mモジュールにSTE型2台配置が必要
- ライン型吹出口にてペリメータ負荷を処理
- 梁貫通工事、狭小部での作業が必要
- インテリア側とペリメータで異なるデザインの吹出口となる

フレアフロー

同じデザインの吹出口で気流分布の変更ができる

- 梁貫通が不要
→ **建築工事費の削減**
- ライン型吹出口が不要
→ **設備工事費の削減**
- 狭小部での工事が不要
→ **施工性の向上(工程・品質)**
- 同じデザインの吹出口で空調できる
→ **意匠性の向上**



フレアフロー (室内インテリア用)

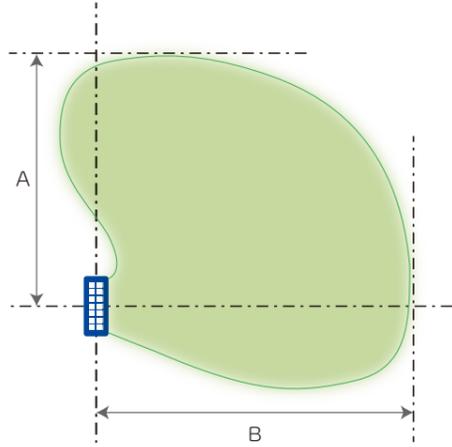


照明横施工時

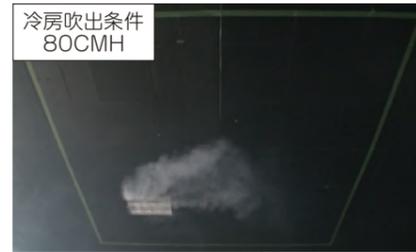


諸性能

風量 [CMH]	到達距離 [m]		静圧損失 [Pa]	発生騒音 [dB(A)]	NC値
	A	B			
325	2.3	2.7	31	38	32
163	1.2	1.4	8	21	16
100	0.7	0.8	3	20未満	15以下



フレアフロー低温・小風量対応型 GTF-LA



製品写真



諸性能

	風量 (CMH)	到達距離(m)		静圧損失 [Pa]	発生騒音 [db(A)]	NC値
		A	B			
冷房 ($\Delta t=13.0^{\circ}\text{C}$)	250	2.2	2.1	28	37	31
	125	1.1	1.0	7	20以下	15以下
	80	0.7	0.7	3	20以下	15以下

※各風量とも、FL+1.6m地点での風速は0.23m/s以下となります。(CH=3.0m)
※冷房時天井面に沿う気流を得る吹出風量は45CMH以上です。

結露性能

吹出温度 ($^{\circ}\text{C}$)	室内温度 ($^{\circ}\text{C}$)	室内湿度 (%)	結露有無
13.0	26.0	60	無
		65	有

※吹出風量:250CMH時

フレアフロー SA・OAセパレート型 (GTF-SP型)

SA空気とOA空気を同時に給気して、チャンバー内で気流を分離し吹き出させます。
また、GTF型と同形状の気流を吹出します。

従来のOA給気の問題点

① OA専用の吹出口が必要

この吹出口は、2ネックタイプのフレアフローなので1台の器具にSA空気とOA空気を同時に給気できます。
OA吹出用の器具を用意する必要がなくなるため、施工コストを低減できます。

※SAは、空調給気 ※OAは、空調外気

② チャンバーでSAとOAを同時給気する場合

OAが押し込まれず、風量が担保できないことがあります。

③ PACのRA側にOA側を入れる場合

加湿しているにもかかわらず、PAC内で除湿されることがあります。

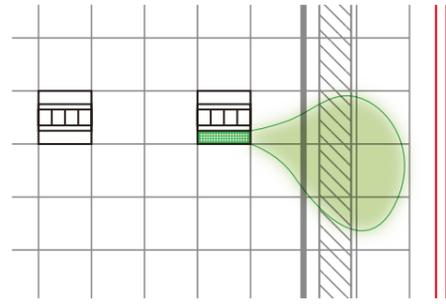
OAの給気量にあわせて3種類をラインナップ!

OA給気風量が60CMH用、90CMH用、120CMH用と外気風量によって器具を3種類から選定できます。
SAネックからOAネックへの気流逆流防止のために、チャンバー内部に仕切板を設けております。それぞれの器具にてOAとSAの風量比の違いによるバランスを保つため、チャンバー内部の中仕切の位置やSAネックの位置を変更しております。

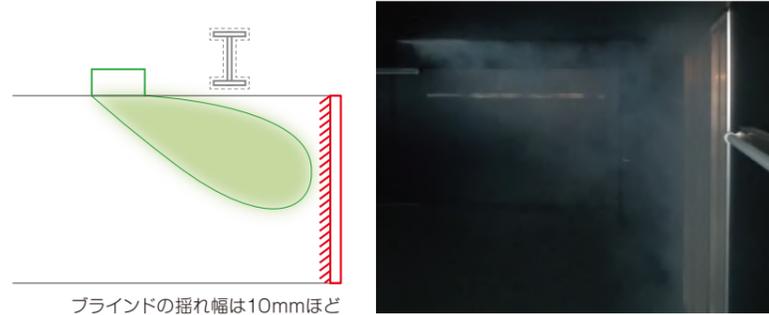
	GTF-L-SP-60	GTF-L-SP-90	GTF-L-SP-120
断面図			
気流写真			
風量[CMH] (OA/SA)	60/265	90/235	120/205
発生騒音 [dB]	37	38	36

※上図はL型の図です。R型はOAネックとSAネックの位置が逆となりますのでご注意ください。
※すべての機種において、OA給気風量とSA給気風量の合計風量が325CMH時はNC-30以下です。
※結露性能についてはお問い合わせください。

フレアフロー（ペリメータ用短辺吹出）

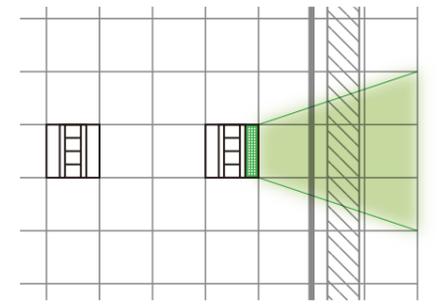


器具名称 サイズ	風量 (CMH)	静圧損失 (Pa)	発生騒音 (dB(A))	NC
GTF-PS-R 584×162 Ø200相当	400	36	43	38

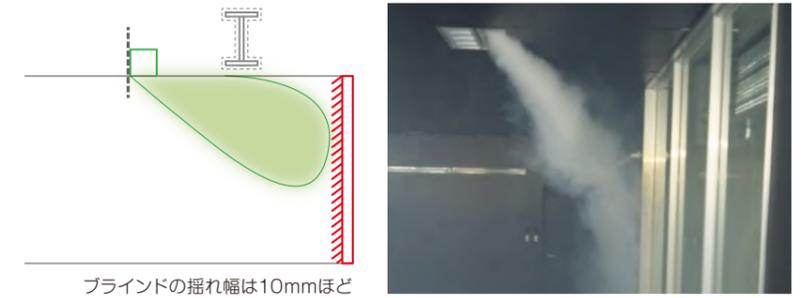


フレアフロー（ペリメータ用長辺吹出）

※長辺拡散型についてはお問い合わせください。

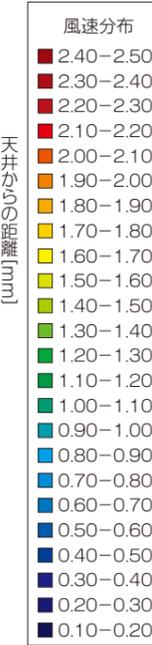
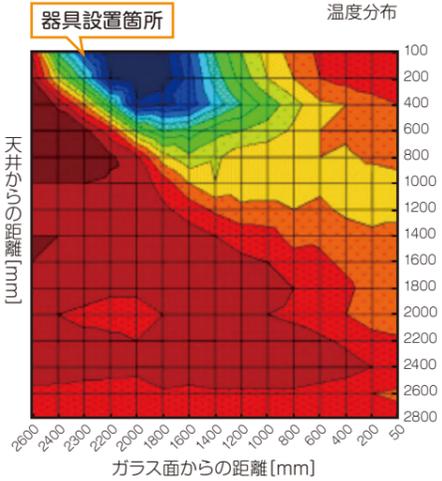
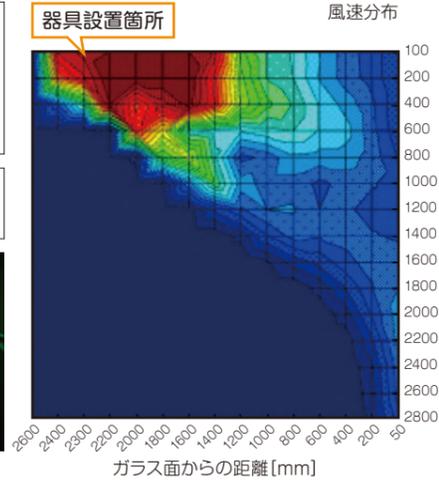
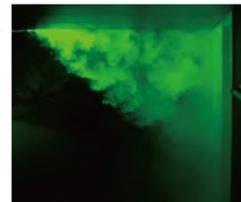


器具名称サイズ	風量 (CMH)	静圧損失 (Pa)	発生騒音 (dB(A))	NC
ペリ長辺吹出 584×162 Ø200相当 標準型	400	31	37	33
ペリ長辺吹出 584×162 Ø200相当 拡散型	400	27	37	33
	500	42	44	39



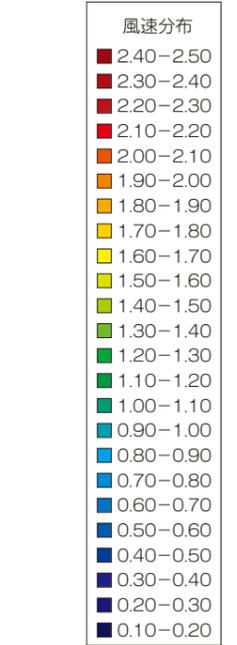
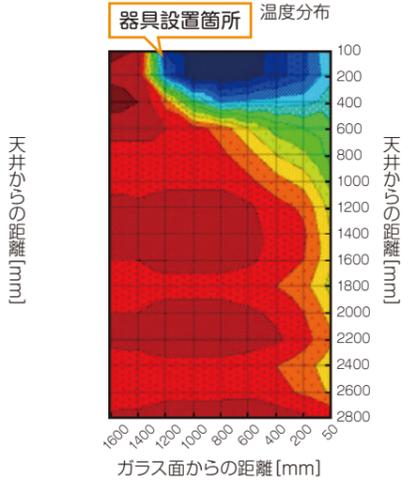
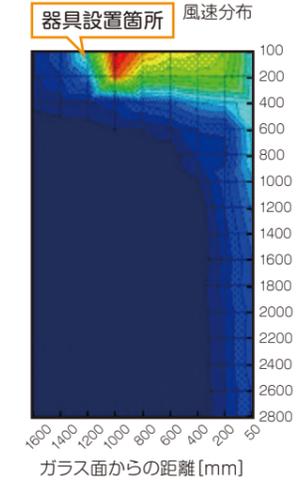
冷房吹出
温度条件: 吹出温度16.0℃
室内温度26.0℃
ガラス表面温度35.0℃
風量: 400CMH/台

速度表示帯: 0~2.5m/s
温度表示帯: 20.0~27.0℃



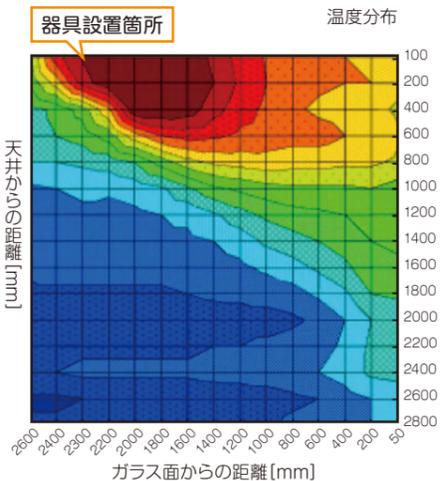
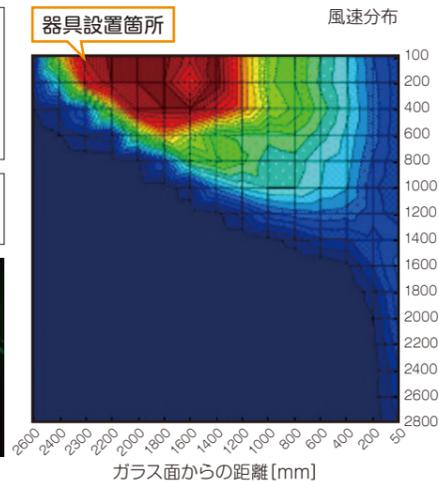
冷房吹出
温度条件: 吹出温度16.0℃
室内温度26.0℃
ガラス表面温度35.0℃
風量: 400CMH/台

速度表示帯: 0~2.5m/s
温度表示帯: 20.0~27.0℃



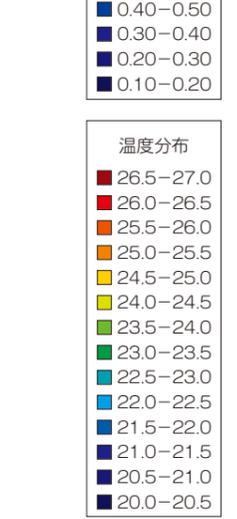
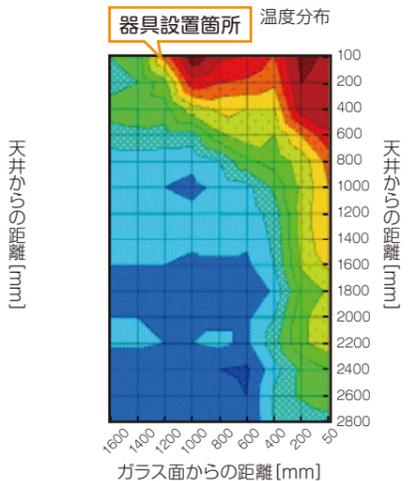
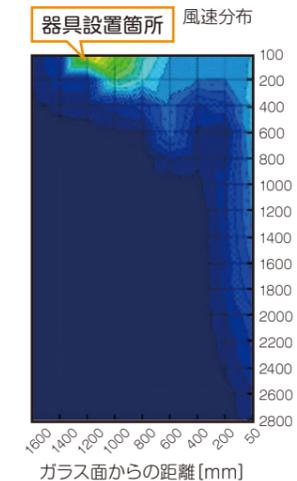
暖房吹出
温度条件: 吹出温度32.0℃
室内温度22.0℃
ガラス表面温度12.0℃
風量: 400CMH/台

速度表示帯: 0~2.5m/s
温度表示帯: 20.0~27.0℃

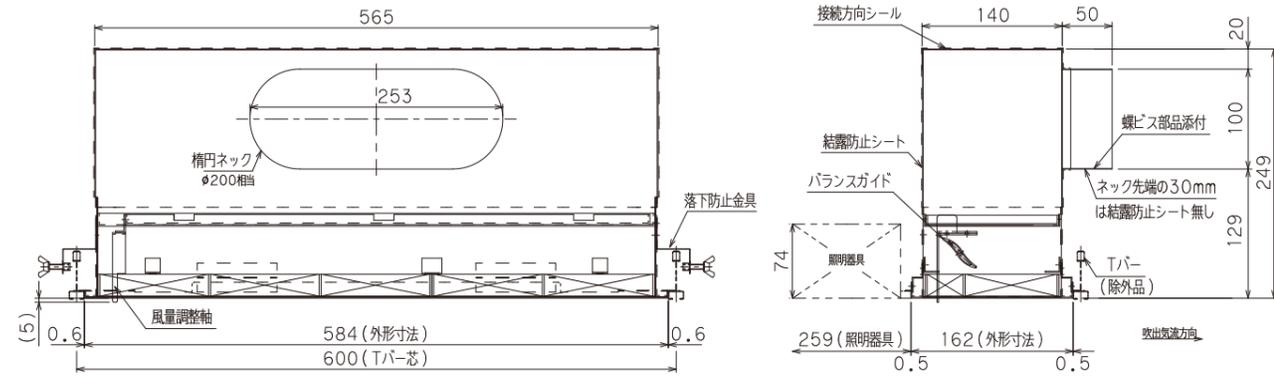


暖房吹出
温度条件: 吹出温度32.0℃
室内温度22.0℃
ガラス表面温度12.0℃
風量: 400CMH/台

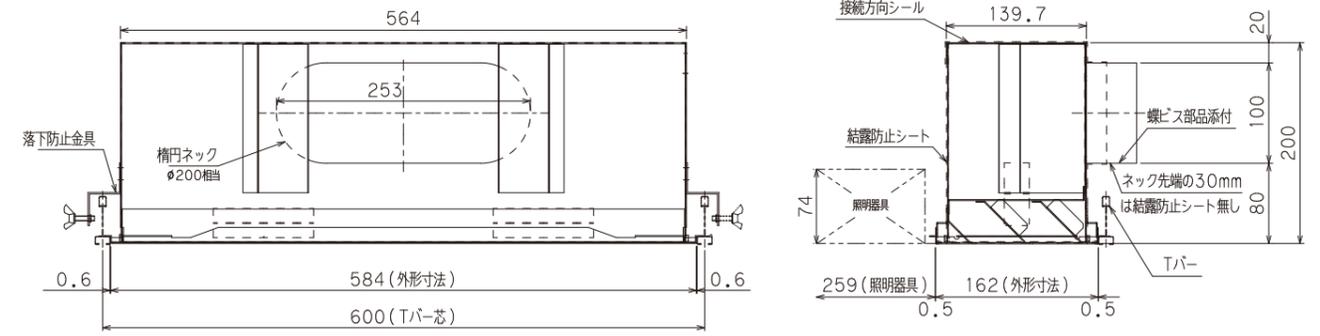
速度表示帯: 0~2.5m/s
温度表示帯: 20.0~27.0℃



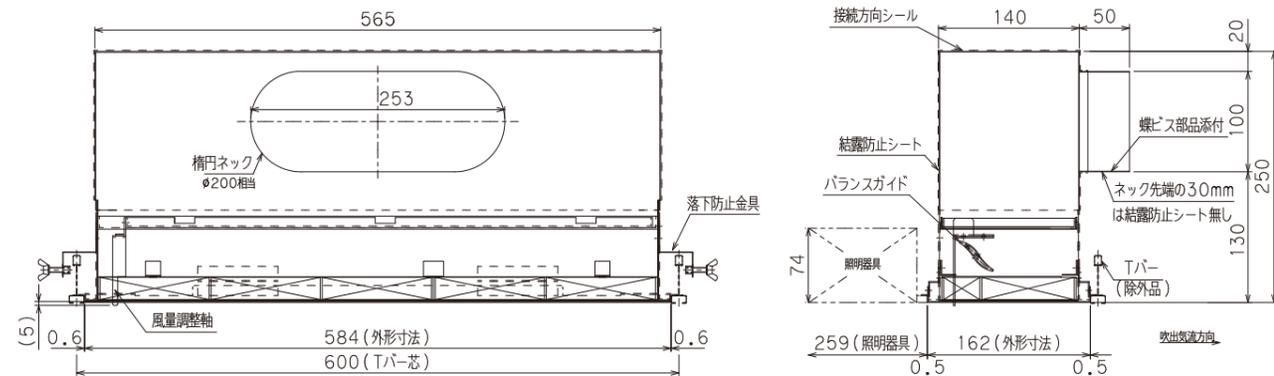
GTF-L フレアフロー(左吹出)



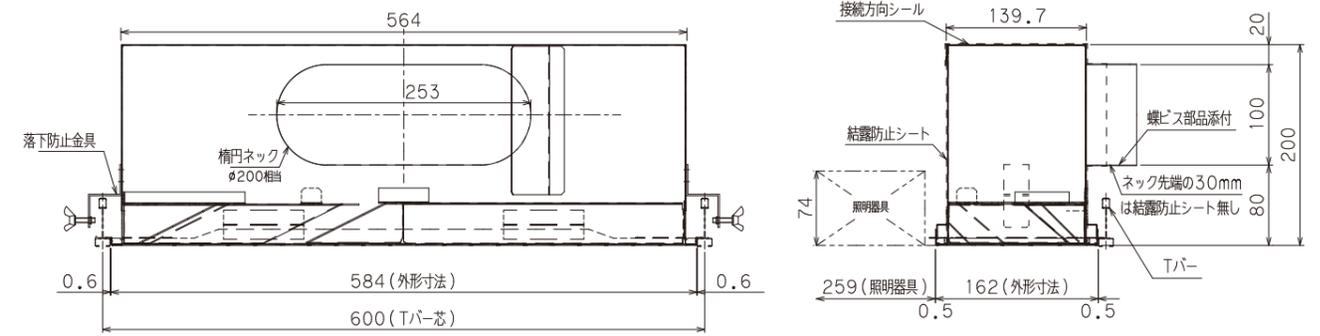
GTF-PL-N フレアフロー(ペリ長辺吹出)



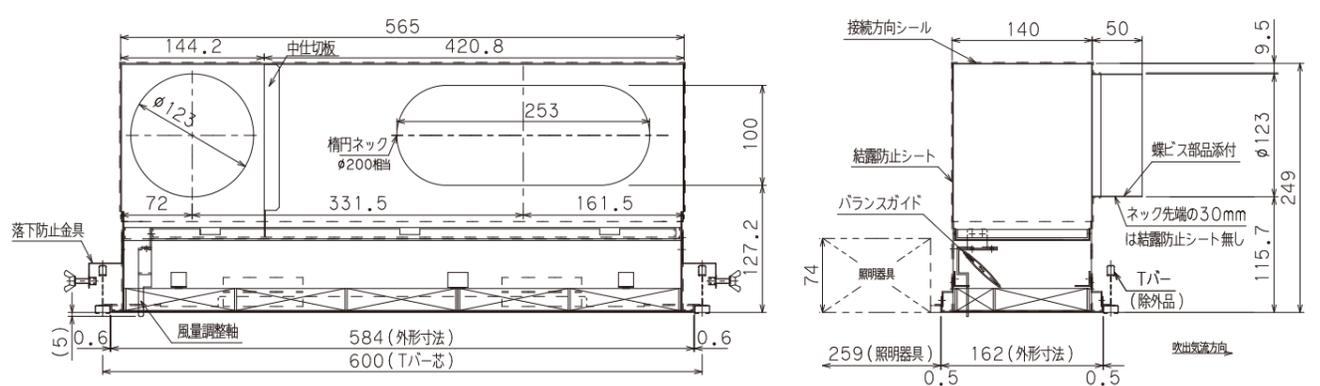
GTF-L-LA フレアフロー(小風量対応左吹出)



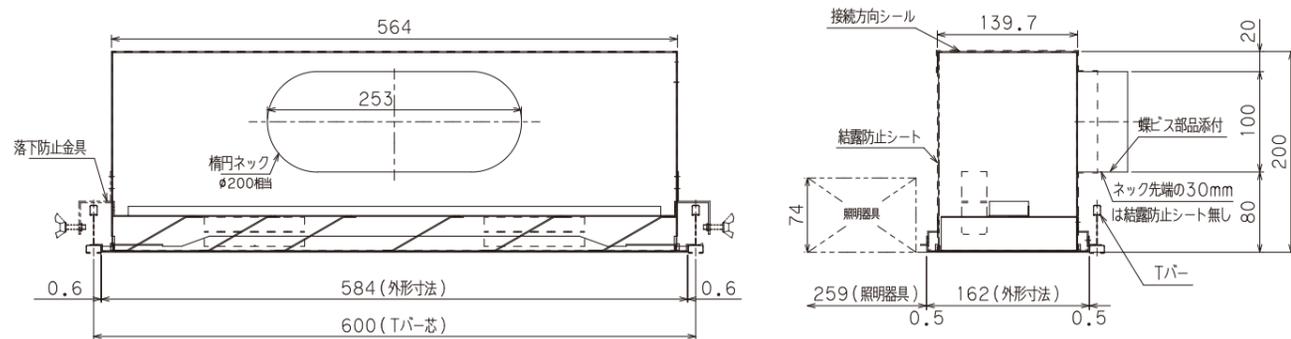
GTF-PL-DL フレアフロー(ペリ長辺拡散型左吹出)



GTF-L-SP-60 フレアフロー(SA・OAセパレート型左吹出)



GTF-PS-L フレアフロー(ペリ短辺左吹出)



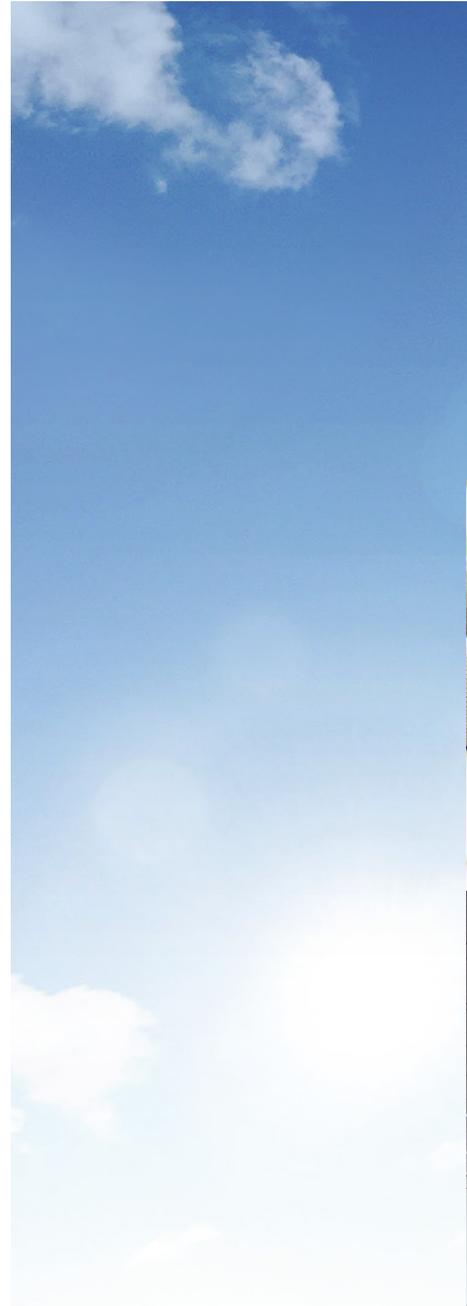
仕様

仕上げ	メラミン樹脂焼付塗装 (パンチング板)。ただしチャンバーは黒色亜鉛メッキ鋼板。または黒色防錆塗装。
塗装色	指定色

※照明と楕円ネックの位置は本図に合わせてご施工ください。
 ※吹出気流には方向性がありますのでご注意ください。
 ※施工後にスライドシャッターが全開であることをご確認ください。
 ※極度に偏流すると気流形状が変化しますのでご注意ください。

名称	材質	備考
気流羽根	ABS	黒
シャッター	鋼板	t1.2
チャンバー	鋼板	t0.6
パンチング板	鋼板	t1.0
遮蔽板	鋼板	t0.6
風向ガイド板	鋼板	t1.0
気流羽根	鋼板	t1.0





総販売元

空研工業株式会社

本社	〒810-0051 福岡県福岡市中央区大濠公園2-39	Tel.092-741-5031	Fax.092-741-5122
仙台支店	〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2-9-27	Tel.022-261-2530	Fax.022-261-2571
東京支店	〒105-0014 東京都港区芝3-8-2	Tel.03-6861-2400	Fax.03-6861-2410
名古屋支店	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-23-8	Tel.052-953-3100	Fax.052-953-1721
大阪支店	〒550-0004 大阪府大阪市西区鞆本町1-11-7	Tel.06-6449-6201	Fax.06-6449-6205
広島支店	〒730-0041 広島県広島市中区小町3-17	Tel.082-546-2590	Fax.082-546-2591
福岡支店	〒810-0051 福岡県福岡市中央区大濠公園2-39	Tel.092-741-5034	Fax.092-741-5030
冷熱福岡支店	〒810-0051 福岡県福岡市中央区大濠公園2-39	Tel.092-741-5033	Fax.092-781-8156
冷熱熊本支店	〒860-0834 熊本県熊本市南区江越1-25-20	Tel.096-243-7666	Fax.096-243-7500
冷熱長崎支店	〒850-0862 長崎県長崎市出島町1-14	Tel.095-811-3117	Fax.095-811-3120
札幌営業所	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11-4-21	Tel.011-215-1880	Fax.011-215-1887
工事部	〒819-0005 福岡県福岡市西区内浜2-4-38	Tel.092-707-6691	Fax.092-707-6692
福岡工場	〒823-0013 福岡県宮若市芹田586	Tel.0949-32-1212	Fax.0949-32-1217
千葉工場	〒265-0045 千葉県千葉市若葉区上泉町958-47	Tel.043-309-6510	Fax.043-309-6515

URL <https://www.kuken.com> E-mail honbu@kuken.com

製造元

空調技研工業株式会社

本社・工場	〒819-1321 福岡県糸島市志摩小富士968	Tel.092-328-1377	Fax.092-328-1200
千葉工場	〒265-0045 千葉県千葉市若葉区上泉町958-47	Tel.043-235-8792	Fax.043-235-8798

URL <https://www.kuchogiken.co.jp> E-mail toi-kgk@kuchogiken.co.jp

※弊社製品の使用に際しましては、各製品の取扱説明書をお読みになり、注意事項、安全点検、清掃などの確認をお願いいたします。
※本カタログに記載された内容は、製品改良のため予告なく変更する場合がございます。
※本カタログに記載された内容は、無断転載およびコピーを禁じます。
※写真は撮影条件、印刷インキの特性などから実際の色とは異なる可能性があります。